

平成29年度 岩出小学校卒業式 学校長式辞

固く閉じていた桜のつぼみもようやくほころび始め、春の訪れが感じられる季節になりました。本日、ここに平成29年度岩出小学校卒業式を挙行できますことを誠にうれしく思います。

51名の卒業生の皆さん、ご卒業まことにおめでとうございます。また、本日ご多忙にも関わりませず、岩出市長様はじめ、たくさんのご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、今、皆さんが手にされた卒業証書は、この6年間、皆さんが、この岩出小学校で一生懸命に頑張ってきた証しです。どうぞいつまでも大切にしてくださいませよう、お願いいたします。

さて、皆さんが卒業される、この平成30年は、韓国のピョンチャンで冬季オリンピック・パラリンピックが開催された記念すべき年となりました。オリンピックでは、日本は、金銀銅合わせて、過去最多となる、計十三個のメダルを獲得しましたが、選手の皆さんの感動的な活躍の場面が、今でも鮮やかに脳裏によみがえって参ります。

日本の選手の中で特に印象に残っておりますのが、男子フィギュアスケートで、66年ぶりに、2大会連続で金メダルを獲得した、羽生結弦選手です。大会前に右足に大けがを負い、オリンピック出場すら危ぶまれましたが、まさに奇跡の復活を遂げ、しかも金メダルを獲得されたことに心から感動いたしました。

羽生選手は、今までに、様々な場面で数々の名言を残されていますが、今回のオリンピック前のあるテレビ局のインタビューで、こんな言葉を話されていたのがとても印象に残っています。

「努力はうそをつく。でも無駄にはならない。」

「努力はうそをつく。でも無駄にはならない。」

努力は、必ずしも、常に報われる、というわけではありません。目標を実現するために、毎日毎日、血のにじむような努力を続けても、時として、それが結果に結びつかないことが往々にしてあります。残酷ですが、それが現実なのです。しかしながら、その努力は決して無駄ではない。その努力を続けてきたことが、また次の目標の実現に向けての大きな力となるのです。

卒業生の皆さん、ぜひ大きな夢を持ってください。夢を持つことがなければ、夢が実現されるはずもありません。そして、その夢の実現に向けて、精一杯努力を重ねてほしいと思います。すぐには結果が出ないこともあるでしょう。「努力はうそをつく。でも

無駄にはならない。」のです。より豊かな、より幸せな人生を送るために、目標に向かって努力し続けられる、そんな人になってほしいと、心から願っています。

皆さんに、もうひとつお願いがあります。

皆さんが、こうして立派に成長してこれたのは、ご家族や地域の方々、そして先生方の温かい見守りや励ましがあったからこそだということを、決して忘れてはなりません。これからも、そういったまわりの方々への感謝の気持ちを忘れずに、いつでも素直に「ありがとう」と言える人になってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業本当におめでとうございます。お子様が立派に成長されたことを心からお慶び申し上げます。この6年間、様々なご苦勞があったこととご推察いたしますが、きょうのこの晴れ姿をご覧になり、その苦勞も喜びに変わったことかと思えます。これからも、温かく、かつ厳しい目で、お子様の成長を見守っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、本校の教育に、日々、温かいご理解・ご支援をいただいております地域の方々に、全教職員を代表しまして感謝を申し上げます。子どもたちは「地域の宝」です。これからも、子どもたちを温かく見守っていただけますよう、お願い申し上げ、卒業式の式辞といたします。

平成30年3月20日 岩出市立岩出小学校長 福元 元章